

12月のモチゼミ

講演者：清水俊博さん

メッセージ:

「お金は大切だが、お金が目的となるのは疑うべきことだ」

どんな人？

大学卒業後、リーマン・ブラザーズ証券株式会社へ入社するも同年に倒産。その後、会社の合併吸収や事業提携を行う企業の手助けをする仕事に携わる。そして2015年、株式会社Good Moneygerを創業し、代表取締役社長として、「投資で損をする人を減らす」ために奮闘中。

また、仕事の傍らスカイダイビングやスキューバダイビングなど多彩な趣味を持っている。



当日の様子

はじめに、学校で習っても分かりづらい経済の基礎知識について非常にわかりやすく説明してくださり、そして経済・金融を遊びながら学べるカードゲームを楽しみました。清水さんは「お金は大切だが、お金が目的となるのは疑うべきことだ」というメッセージを私たちに伝えてくださったのが印象的でした。これらのメッセージは口に出すのは簡単ですが、本当に理解してもらうのは難しいことですよね。しかし、清水さんの言葉は人となり、稀有な経験に裏打ちされており、非常に説得力をもっていました。

生徒たちの感想

- ・金はもちろん必要だが、金に依存するあまりそれが目的となって生きていくのは根本的に疑うべきことだ。(高1)
- ・カードゲームを使った経済を理解する遊びが新しい発想だった。(高2)
- ・金のちからは恐ろしい、しかしすごい！(中3)



講師から 「お金が目的となる」から考える

清水さんは「お金が目的となる」のは疑うべきことだとしゃっていましたが、では、お金は私たちにとってどういう物であるべきなのでしょう？“目的”の対義語ってなんでしょう？目的の対義語は“手段”です。お金は交換、価値保存のための手段であるべきですが、お金の貯蓄が目的のように考えられていることがありますよね。このように、身の回りには単なる手段がいつのまにか目的となってしまうものがあります。それは社会のみならず、自分自身の内にもあるはずで、これを機に身の回りのこと、今やっていることの目的と手段を捉え直すのもよいかもしれませんね。(小島)

モチゼミREPORT 201512

モチゼミの内容は
ブログにも掲載中！



渋谷校



自由が丘校